

九月三日(日)午前九時に四国沖で南海地震発生！沿岸市町村では震度6弱から6強の非常に強い揺れが観測されました(想定)

香南市総合防災訓練

「9月3日午前9時、地震を観測。午前9時5分太平洋沿岸に大津波警報が発令」された想定で地震・津波避難訓練を実施しました。

市内5町の自主防災組織などが避難訓練を行い約4,000人の参加がありました。

近い将来に予想される南海地震に向け、自分の身は自分で守る行動がとれるよう被災状況に基づいた訓練を行いました。



医療救護テントでケガの具合に応じた応急手当を受ける



香南消防職員によるAEDを使った救急救命装置の説明会



1度訪ねてみませんか？

地震津波被害の記録
— 安政大地震(一八五四年) —
大地震による大津波で観音山に逃げたため数百人が助かる。その戒めを書き記した。
〔夜須町〕



観音山の記念碑

〔野市町〕
大地震による津波で物部川が逆流し、上岡地区まで水が押し寄せたことを記す碑。



上岡八幡宮 築石完成記念碑

碑に大地震の悲惨さを書き記し、人々に地震に備える心構えを警告。
〔香我美町〕



飛鳥神社 安政地震の碑

倒壊家屋から住民を救助



赤岡地区

赤岡小学校グラウンドで、炊き出し訓練や消火訓練が行われました。非常食の試食では、「食べれんことはないねえ」と好印象。放水訓練でも住民は積極的に取り組んでいました。



防災グッズの説明を受ける(赤岡地区)

津波を避け高台へ避難(赤岡地区)



防災ずきんをかぶっての避難(香我美地区)

香我美地区

ほぼ全域に自主防災組織が整った香我美地区は、二十三地区(約二千人)が参加し避難訓練を行いました。地震の放送後、組織内で決めた集合場所に集まり点呼をとりました。また、地区ごとに非常食の試食や防災グッズの点検、消火訓練なども行われました。



消火器を使った消火訓練(香我美地区)

夜須地区

夜須中学校グラウンドに倒壊家屋が設置され、各自主防災組織で閉じこめられた住民を助ける訓練を行いました。当日は夜須小学校の生徒も参加し、火災の煙体験や消火訓練、救急救命装置などの体験をしました。



避難の後に草刈りを行う(野市地区)

野市地区

当日サイレンが遅れるというハプニングもありましたが、住民が団結し合い避難訓練を行いました。白岩団地では訓練後に住民有志が避難経路確保のための草刈りなどを行いました。



非常持出袋を持って避難(吉川地区)

吉川地区

新浜緑地公園、錦児童公園、古川山の三カ所へ避難した吉川地区では毎年避難訓練が行われており、スムーズに避難ができました。

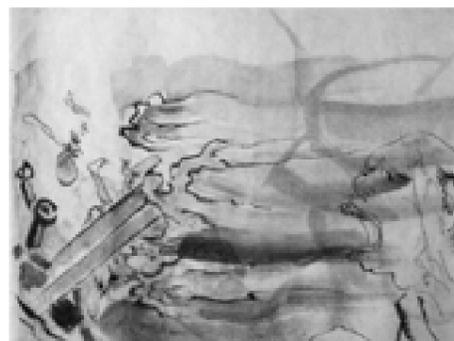


火災の煙を体験(夜須地区)

みんなの意識を高めよう！

南海地震のような大規模災害では消防や救助機関がすぐ来るとは限りません。自分自身が被災者にならないよう、自分の身は自分で守る、地域のことには地域で守ることが必要になってきます。

今後、自主防災組織が未組織の地区にも順次設立を呼びかけていきます。これを機会に、避難場所や経路の確認、方法など家族や地域で話し合ってみてください。市民全員が、災害への危機感と防災への強い意識を持つことで各地域の防災力を高め、香南市を災害に強いまちにすることが出来ます。



絵金の土佐震災図絵(赤岡町) 幕末の絵師・金蔵は安政大地震の絵を数点残しました。